



版瓦協社

No. 39

発行日/平成17年3月

発行所

横浜市中区社会福祉協議会

中区山下町2産業貿易センタービル4階

Tel.681-6664 Fax.641-6078

http://www.nakasha.net

中福祉保健センター

中区日本大通35

Tel.224-8330

# ふくしなか

## 大きく広がる福祉の輪

### 障害のある子どもたちへのこれからの支援を考える集い

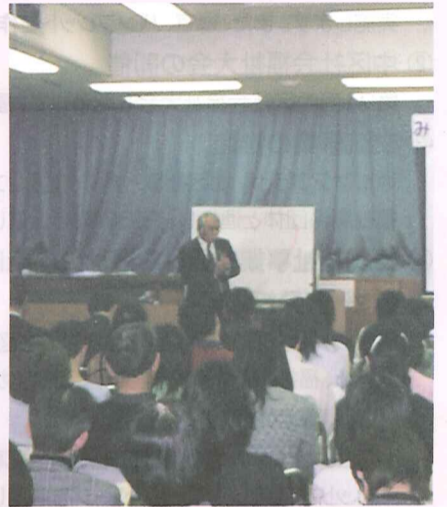
2/5(土)に、野毛地区センターにて「障がいのある子どもたちへのこれからの支援を考える集い」(中区障害者団体連絡会主催)を開催しました。

区内外の小学校の養護学級にて教師による生徒への体罰事件が相次いだことから、地域のみならず学校関係者に対して、障害児、特に自閉症への理解を図ろうと企画したものです。

自閉症の子どもを持つ親が劇や手作りの道具を使った疑似体験などユニークな方法で自閉症を理解させてくれる「座間市キャラバン隊」の舞台、よこはま自閉症相談室の堂一誠先生による自閉症についての講演を行っていただきました。

当日は立ち見が出るほどの参加者で大盛況となり、会場は熱気に包まれました。参加者からいただいたアンケートを読むと、「わかりやすかった」・「新鮮だった」・「大変勉強になった」等大好評だったことがうかがわれます。

これを受け、17年度にはさらに充実した内容の講座を開催し、障がいについての理解を広げていきたいと考えています。



堂一誠先生の講演



座間市キャラバン隊の舞台

「ふくしなか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。

### 中区精神保健福祉普及啓発講座

## 誰もが心元気に生きるには ~正しく知ろう!こころの病~ (主催:中区精神保健福祉普及啓発講座運営委員会)

精神保健福祉についてより多くの方に知っていただくため、3回にわけて開催されました。内容の一部をご報告します。

1/21

「こころの病も早期発見・早期治療」柴田浩生先生

(パークサイド柴田メンタルクリニック院長)

周囲で気付いたら・どう理解し・接していくのか、相談先は?、うつ病・神経症・統合失調症などの症状、具体的な事例まで幅広く話していただきました。

#### ■会場からの質問■

「おかしいなあと思ったとき、相談先は医療機関だけですか?」  
—— 医療機関だけでなく、行政機関や学校など相談先はいろいろありますよ。

2/5

「心の健康~ライフサイクルをふまえて~」東海林正先生

(石川町クリニック院長)

心が健康であるとは?病気とは?またうつ病・統合失調症について具体的に話していただきました。

#### ■会場からの質問■

「精神科は抵抗がある人も多いと思いますが?」  
—— 精神科に抵抗があれば、心療内科への受診はどうでしょう。生活の質が落ちることがないように受診してください。精神科の敷居は高くないですよ。

1/29

「ひとりで悩まないで ~私の病気体験~」野末浩之先生

(汐田ヘルスクリニック所長)ほか当事者4名のお話

野末先生の「精神障害の特性」についてのお話の後、当事者4名のお話でした。発症のきっかけや日々の生活など語っていただきました。

#### ■会場からの質問■

「周囲の人からどういう手助けが必要ですか?」  
—— むしろ普通に接してほしいです。

「がんばっての言葉を使ってしまうがどうなのでしょう?」  
—— うれしい。むしろ見守っていてほしい。等さまざま。先生からは「共感的な立場で発せられる言葉だったらいいけれど、上に立ったり、同情的な言い方はぐさっとくるかも」とのコメントも。

各会場、多くの方の参加がありました。アンケートなどからも今後も講座や講演会を開催してほしいとの意見を頂きました。より多くの人に「精神・保健・福祉」について知ってもらえるよう開催できればと思います。

### お知らせ

ポレポレグッズ  
販売日  
月1回



区内の障害者地域作業所や施設などで作成している自主製品「ポレポレグッズ」を月1回(第4週目のいずれかの曜日)、区役所1階で販売しています。

販売日(予定): 4/20(水)・5/27(金)  
6/28(火)・7/22(金)

時間: 11:00~14:00

場所: 区役所1階 入口正面

毎月出店団体が変わります。

#### ポレポレグッズって?

「仕事をしたい」「社会の一員として活動したい」と中区の障害者地域作業所、更生施設等で働く障がいのある人たちがつくった製品の総称です。

織物・アクセサリー・ビーズ製品・キャンドル・手漉きハガキ・石けん...などの手作り製品やパンやお菓子など品数豊富。

区役所1階のショーケースに製品を展示中!(毎月内容が変わります)。ぜひご覧ください。

区役所へお立ち寄りの際はぜひどうぞ。おまちしています。

# 平成17年度 社会福祉法人 横浜市中区社会福祉協議会事業計画

- 重点目標**
1. 社会福祉への関心や意識を高め、誰もが参加できる街づくりをめざします。
  2. 地域福祉活動をさらに進めるため、地域での情報や推進体制などの環境を整備します。
  3. 地域の特性を活かして、身近な地域での在宅福祉活動をさらに進めます。
  4. 事業を進めるための体制や環境を充実強化します。

## 実施項目

### 1 いらっしゃいませ 福祉ワールドへ = 福祉の啓発・福祉教育の推進

- ① 福祉教育の推進  
福祉教育推進会議を開催し、地域と連携して総合的学習に対応した福祉教育プログラムの開発、関係者の研修や教員・学生向けなど対象別の福祉教育講座などを実施します。また、適宜、パンフレットを作成し活用します。
- ② 中区社会福祉大会の開催  
第21回中区社会福祉大会を開催して、福祉の啓発と区民の交流を図ります。
- ③ 交流事業の推進  
地域ケアプラザ・地区社協・学校・地区センター等で開催される講座・研修などで、福祉関係団体と連携し、交流事業を促進します。
- ④ 各種福祉事業を通して福祉の啓発に取り組みます。
- ⑤ 広報・啓発紙の発行  
編集委員会を設けるなど区民の参加を図って、社協広報紙瓦版「ふくしなか」を発行し、福祉保健情報の提供・啓発に努めます。
- ⑥ 社協事業活動の広報宣伝  
「広報よこはま なか区版」に定期的に記事の掲載を働きかけるとともに、インターネットを活用したホームページを運用します。

### 2 わたしのできること わたしがやってみる = 住民の主体的活動への支援

- ① ボランティア活動の推進  
ボランティア連絡会や区内地域ケアプラザと連携して、各種ボランティア講座を実施するなどボランティアの開拓・育成事業を企画します。また、活動機材を整備し、ホームページでの情報提供や情報紙「Let'sボラ」を発行するとともに、ボランティア活動の支援にあたります。
- ② ボランティアセンター運営委員会の開催  
ボランティアセンター事業計画の進行管理を行い、課題解決に努めます。
- ③ 地区社協の育成・支援  
育成支援方法の見直しを行い、研修などを通じて事業活動の促進に努めます。
- ④ 在宅福祉活動の推進  
地区社協や社会福祉施設などと連携を図りながら、小地域での福祉サービスの拡充に努めます。また、地域支えあい連絡会事業を支援し、地域ケアプラザと連携して、インフォーマルな福祉サービスや助け合い活動の開発や組織化に取り組みます。更に、活動の支援・調整・情報交換を目的としてコーディネーター会議を開催します。
- ⑤ 子育て支援事業  
少子化に対応して、子育て支援事業に取り組みます。
- ⑥ 中区福祉保健活動拠点の利用促進  
福祉保健活動を行っている団体等に対して、拠点の普及・利用をはかり、自主的な活動の場を提供します。

### 3 ほんとのこえが、聴こえるね = 当事者の組織化・社会参加の促進

- ① 当事者団体の連絡調整・支援  
中区障害者団体連絡会と連携して、各種交流事業を進めます。
- ② 社会参加の促進  
当事者団体の自主活動を支援するために民間資金を活用して助成を行い、また、ボランティアグループと連携して、送迎サービスを実施します。
- ③ アクティビティサービスの充実  
地区社協と連携して、地域ふれあいサロン等の事業を小地域にも拡充します。
- ④ 介護者支援事業の推進  
寝たきり高齢者、認知症高齢者や障害児・者等の介護者の組織化に取り組み、介護者支援サービスの推進を支援します。

### 4 どうしよう こうしたら ホツとした = 情報提供・相談調整機能の充実

- ① 視覚障害者情報提供サービス事業  
ボランティアの協力や関係者との連携により、ボランティアセンターにおける音声訳・点訳サービスを拡充します。
- ② ボランティア相談調整の強化  
ボランティア活動に関する相談や調整を強化します。また、ボランティア相談を充実させるため、地域ケアプラザと連携していきます。
- ③ サービス情報の提供  
サービスの選択・決定に役立つよう、有償の福祉サービスやボランティア活動などのインフォーマルな情報を含め、ボランティアセンターからの確かな福祉サービスの情報を提供していきます。
- ④ 地域での総合相談調整機能の推進  
地域ケアプラザや関係機関等と連携して、身近な地域で相談調整が図れるように努めます。
- ⑤ 地域福祉権利擁護事業の実施  
中区社協あんしんセンターで高齢の方や障害のある方の生活や金銭管理などに関し、相談を受け、支援します。

### 5 ひとりひとりがイキがいい = 在宅生活への自立支援

- ① 障害児・者余暇等支援事業の実施 **New**  
障害児・者が地域で自立した生活を営む基盤づくりとして、障害児・者に対する余暇支援・相談・交流・一時託児や生活訓練を実施します。
- ② 交流事業の実施(再掲)
- ③ アクティビティサービスの充実(再掲)
- ④ 送迎サービス事業の実施  
ボランティアグループと連携して、高齢の方・障害のある方や難病患者に対して、送迎・外出支援サービスを実施します。
- ⑤ インフォーマルサービスの育成・支援  
インフォーマルな民間福祉サービスの育成や支援に努めます。
- ⑥ 各種資金の貸付  
高額療養費・生活福祉資金や長期生活支援の各貸付事業を行います。

### 6 中区っていいね 自慢だね = 事業実施体制の強化

- ① 財源の確保と財政の健全化  
財源問題検討委員会を中心に、世帯会費・賛助会費の増強など、自主財源の確保に積極的に取り組むとともに、効率的な支出の努力や使途の開示など、財政の健全化と透明性の確保に取り組みます。
- ② 第2次地域福祉活動計画の策定  
第2次実施計画の5年目にあたり、進行管理委員会を設けます。計画の策定に関して研修を行い、その上で計画の評価・見直しを行います。さらに、地域福祉保健計画の策定に合わせて、第2次地域福祉活動計画を策定します。
- ③ 地域福祉保健計画への参画  
平成17年度完成予定の地域福祉保健計画の策定に、引き続き協力します。
- ④ サービス向上の促進及び事務改善の実施  
窓口におけるサービス向上を促進するため、研修を行うなどサービス改善をはかります。また、区社協出納事務の電子化により、事務の効率化をはかります。
- ⑤ 地域ケア施設との連携  
区内地域ケアプラザ等と緊密に連携して事業を推進します。
- ⑥ 福祉関係7団体の事務局運営  
日赤中区地区委員会・共同募金会中区支会・更生保護協会中区支部・中保護司会・中区社会を明るくする運動実施委員会・中区更生保護女性会・中区遺族会の事務局を運営します。

問い合わせは 中区社会福祉協議会へ

Tel.681-6664 Fax.641-6078 E-mail info@nakasha.net